

## 原文

---

1918年、日本はチェコ部隊救出を目的に、アメリカなどととともにシベリアへ共同出兵した。目的達成後、アメリカは撤兵したが、1922年まで日本は共産軍と戦い、兵を引かなかったため、アメリカの疑念を招いた。

日米両国には、新たにおこった共産主義に対する危機感に相違があった。長年、南下するロシアの脅威にさらされていた日本は、革命勢力に対して警戒心を強めていた。同様の恐怖心をいだいたヨーロッパ諸国も、軍を送って革命阻止の干渉戦争を行った(対ソ干渉戦争)。

## 原文

---

70番の関連修正(本文中から「対ソ干渉戦争」の単語がなくなったため)

## 修正文

---

1918年、日本はチェコ部隊救出とシベリアへの<sup>えいさうりょく</sup>影響力拡大を目的に、アメリカなどとともにシベリアへ共同出兵した。やがてアメリカは撤兵したが、1922年まで日本は共産軍と戦い、兵を引かなかったので、アメリカの疑念を招いた。

長年、南下するロシアの脅威にさらされていた日本は、共産主義の革命勢力に対しても、アメリカ以上に強い<sup>けいかい</sup>警戒心をいただいていた。同様に共産主義に対する恐怖心をいただいたヨーロッパ諸国も、軍を送って革命阻止の干渉戦争を行った。

## 修正文

---